

地域別構想（素案）

第2節

中之島地域

◀地域に関するデータ▶

（2020年4月住民基本台帳）▶

・総面積： 42.6 km²（4.8%）

・総人口： 11,298人（4.2%）

・世帯数：3,765世帯（3.5%）

※（ ）内は市全体に占める割合

1 地域の現状

（1）人口

- 地域人口は、2020年で11,298人。地域別人口増減（2009年～2019年）は、地域全体で10%未満の減少があり、今後も同様の傾向が続く見通しです。
- 中之島地区ほか支所周辺のまちなか居住区域内に人口が集積しています。日常生活に必要なサービス機能をまちなか居住区域内に維持・確保し、人口密度を高める必要があります。
- 高齢化率（65歳以上人口割合）は、2020年で約32%です。長岡市全体の高齢化率平均（約31%）と同程度であり、今後も市全体の傾向と同様に推移する見通しです。

（2）産業

- 地域における従業者数は、2016年で4,730人です。交通アクセス性を活かした卸・小売業が中之島流通団地などで多く、中之島工業団地では機械・金属加工などの製造業が盛んです。卸・小売業と運輸業・郵便業で従業者割合の5割以上を占めています。
- 約2,700haの広大な耕作地のうち約8割がほ場整備により大区画化され、高生産性農業が可能となったことから、農業経営の効率化が図られています。

（3）土地利用

- 中之島見附ICに隣接する中之島地区では、流通・機械・金属加工などの企業が集積し、就業の場を形成しています。さらに、中之島地区には「みずほ団地」が整備され、職住近接の環境が整っています。
- 診療所や商業施設、金融機関をはじめとした公共施設等の都市機能は、支所周辺の都市機能誘導区域内に比較的まとまって立地しています。
- 市街地内の大部分が信濃川等の洪水浸水想定区域に該当しています。平成16年の7・13水害を教訓として、河川改修工事が進められています。

（4）生活基盤

- 北陸自動車道「中之島見附IC」や国道8号ほか主要幹線道路が整い、恵まれた交通体系を有しています。さらに都市計画公園等の都市基盤も整っています。
- 公共交通として鉄道（JR押切駅）と路線バスが運行されています。バス路線が国道403号等の幹線道路に限定されているため、公共交通空白地において、地域が主体となった生活交通の確保・維持が始まっています。
- 都市計画区域外も含め公共下水道（污水）が整備されています。上水道は、見附市の給水区域に含まれ、供給を受けています。
- 信条地区では、令和6年度の供用開始を目指し、新ごみ処理施設の建設が進められています。

2 主な地域資源、地域の宝

- 360年以上の歴史を有する「見附今町・長岡中之島大風合戦」など有形・無形の文化財や、優良な農地から生産される農産物などの地域の宝、地域資源があります。

地域の宝「見附今町・長岡中之島大凧合戦」



100枚張りの大凧が空を舞う伝統行事。連合町内会単位での大凧の作成・展示や小中学校の大凧体験など地域全体が行事に関わる環境づくりを進めている。

地域の宝「大竹邸記念館」



「憲政の神」として称えられている偉大な政治家、大竹貫一翁の遺徳を偲び、顕彰するため、その遺品や盟友の書など、大竹家代々の所蔵品等を展示している。

出典:

長岡地域の宝ポータルサイト、長岡市地域の宝磨き上げ事業成果報告書(H30年度)ほか

中之島見附IC周辺

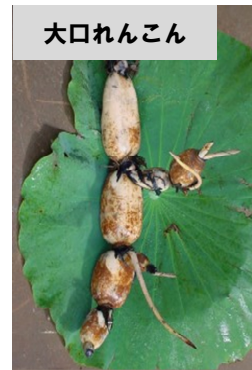


中之島産業まつり



中之島見附IC周辺には、中之島流通団地を整備。流通・工業関連企業が立地。流通・機械・金属加工などの企業が集積し、産業が盛んで、米やレンコンなどの特産品がある。

大口れんこん



3 地域の課題と地域づくりの方針

過去の水害を教訓に、河川改修の促進と優良農地の保全を図り、安全・安心に暮らせる水害に強いまちづくりを進めるほか、交通アクセス性を活かした新たな産業振興と雇用環境の創出に取り組み、地域内人口の確保・維持を図ります。

(1) 水害に強いまちづくり

広範囲に低地帯が広がり、市街地の大部分が洪水浸水想定区域に指定されていることから、浸水被害の軽減をはじめとした水害への対応が課題です。

頻発・激甚化する豪雨災害から市民の生命、財産を守るため、河川の改修工事や定期的なしゅん濇、市街地内の浸水対策を推進し、治水安全度を高めます。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中之島川、末宝川の改修工事の促進 ・刈谷田川ほか、河川の定期的なしゅん濇 ・市街地の浸水対策 <p style="text-align: right;">など</p>
------	--

(2) 流通産業団地の整備検討

中之島見附ICや国道8号への交通アクセス性と、既存流通産業団地が集積する良好な操業環境が整っているものの、既存流通産業団地内には新たに分譲可能な用地がないことから、進出企業の立地ニーズの取り込みが課題となっています。

この恵まれた環境を最大限に活かすため、農業振興策との調和のもと、新たな立地需要に応じた産業団地について検討します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業団地の整備の検討
------	--

(3) 都市機能の集約と定住の促進

支所周辺に公共施設等の都市機能が集積しているものの、まちなか居住区域内にある「みずほ団地」では多くの未分譲地が存在し、課題となっています。

日常生活に必要なサービス機能をまちなか居住区域内に維持・確保していくために、支所周辺に都市機能を集積し、「みずほ団地」における人口の定着と分譲促進を図ります。

主な取組	・みずほ団地の分譲促進
------	-------------

(4) 「地域の足」の確保

バス路線が幹線道路に限定されていることから、地域の一部に「公共交通空白地」が発生し、住民の移動に支障を来しています。

地域特性に応じた「地域の足の確保」を検討するとともに、生活道路における歩行者環境の整備を進めます。また、公共交通の利用促進を図るため、JR 押切駅におけるパーク＆ライドを推進するほか、待合環境整備による利便性・利用環境の向上などに取り組みます。

主な取組	・JR 押切駅前駐車場、駐輪場の整備 ・共助による「地域の足」の確保のあり方の検討 ・生活道路の拡幅改良、通学路の整備 など
------	--

(5) 市民活動の場づくり

中之島地域では、若者を含めて住民が主体的に地域活動に関わっていることから、継続的に取り組める環境を整備し、活動への参加機会を高める必要があります。

既存公共施設を有効活用した大風の絵付け場の確保など、「地域の宝」を守る活動を支援するとともに、中小企業事業者が地域活性化に資する活動に取り組めるような環境を確保します。

主な取組	・コミュニティーセンター機能の再編と強化 ・地域の宝磨き上げ事業 ・中之島町商工会との連携による環境整備 など
------	---

(6) 広大な優良農地の維持・保全

中之島地域に広がる優良農地は、本市を代表する米づくりの生産地であるとともに、魅力ある田園景観を形成し、今後も維持していく必要があります。

ジャンボおにぎりや大口れんこんをシンボルとしたイベントなど、良質な農産物を活用した地域振興や産業振興の取組が盛んです。今後とも継続的に農業基盤整備を行うとともに市街化調整区域における開発を抑制し、農地を適切に保全します。

主な取組	・かんがい排水事業の実施 ・継続的な開発指導 ・地元特産品を活用したイベント開催支援
------	--

地域づくりの方針図 中之島地域



土地利用		凡例		道路 (現状)		道路 (計画・整備を検討する路線)	
	近隣型商業集積地		にぎわい住宅地		高速道路		主要幹線道路
	工業・業務集積地		うるおい住宅地		主要幹線道路		都市内幹線道路
	住宅共存工業地		農村集落地		都市内幹線道路		都市内幹線道路
	流通・業務地		農地		バスネットワーク		都市内幹線道路
	レクリエーション交流地		山林・河川敷		河川 (現状)		河川 (計画・整備を促進)
	行政等施設		まちなか居住区域		整備・検討を進める箇所		
	教育・文化・スポーツ施設		郊外居住区域				
	学校		地域界				
	都市計画区域		新幹線				
	地域界		在来線				